



IR 部署における業務内容の 効率的な共有の仕組みについて

山形大学エンrollment・マネジメント部EM企画課
専門員 鈴木 達哉

suzukit@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

March 8, 2019

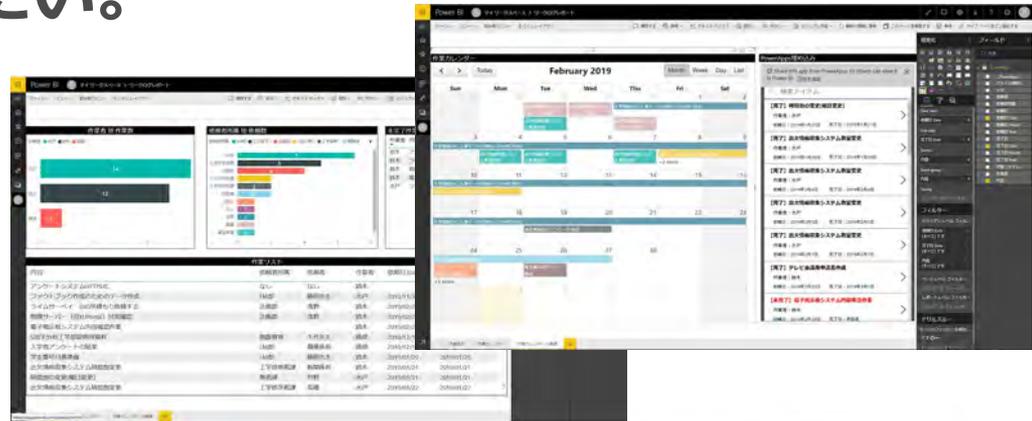
継続的改善のためのIR/IE セミナー2018 セッション3
(於：九州工業大学 戸畑キャンパス)

本日の内容

1. 概要の確認
2. 次世代形成・評価開発機構IR 部門について
3. 業務内容共有（見える化）における課題
4. 業務の見える化：失敗したこと
5. 業務の見える化：解決策
6. 業務の見える化：さらなる改善
7. デモ
8. 現時点の課題
9. まとめ

1. 概要の確認

発表者が所属（兼務）する次世代形成・評価開発機構IR部門（OIRE）は、複数の部署に所属する教職員で構成されている。そのため、個々人が日常業務と併せてIR業務を担っており、それぞれの業務内容を共有することが困難であった。そこで、発表者は、ICTを活用して業務内容を効率的に共有できるシステムを構築した。本報告では、実際のデモンストレーションを交えながら、システムを紹介し、今後の活用方法などについて話題提供したい。



2. 次世代形成・評価開発機構IR 部門について

■ 次世代形成・評価開発機構IR 部門（以下IRチーム）の人員について

教員（学術研究院）	3名
事務職員（エンrollment・マネジメント部）	1名
事務補佐員（エンrollment・マネジメント部）	1名
合計	5名

■ 業務内容

ルーチン業務、アドホック業務の他に各員の担当部署の業務がある。

3. 業務内容共有（見える化）における課題

■ 情報の共有

- ・ 各員が別々の所属部署で業務を行っているため、IRチームがまとまって打合せを行う機会が少ない

■ 業務内容把握と分担

- ・ 口頭ベースによる依頼があると、時間が経つと、誰が担当か、何をやるのか、こういったステップでやるのか忘れる
- ・ メールでの連絡が頻繁にある場合、過去の会話をさかのぼるのが非常に困難

■ 進捗管理

- ・ もともとの依頼業務に、さらに追加の分析依頼があった場合、経過や終了が見えにくい
- ・ 単純に業務分担後の進捗管理がなかなか実現できていない

IRチームの上記課題に対応した業務管理ツールがなかなか見つけれられない

4. 業務の見える化：失敗したこと

■ 無料の業務管理ウェブサービスを利用する

三日ぐらいで自分以外は誰もログインしなくなった。

■ 各員のExcelによる単純管理

Excelのフォーマットや入カスタイルがそれぞれ違ったため、共有がしにくく、しかも誰も全員のものを管理しないため、結局見なくなり、入力しなくなった。

■ 共有フォルダへのAccessファイルのフォームによる業務管理

導入初期は使用していた。改良依頼があつたが、時間が取れず、改良自体も面倒なため、そのまま使用停止。依頼者も改良依頼自体を忘れてしまった。

■ OneDriveでのExcelファイルによる管理

シンプルだが使い勝手が良く、これが最適解かもしれない。しかし、部署名、担当者名などの統一性がなく、管理しにくい。また、単純な共有ファイルなので、誤って削除したら終わりという不安がある。

5. 業務の見える化：解決策

■ ツールの導入

ツール	メリット
ビジネスチャットツール (Microsoft Teams)	別部署でも気軽に情報共有
タスク管理ツール (Microsoft Tasks)	タスク入力が非常に簡単

※ Microsoft社製品の選定理由：教職員は、MicrosoftのOffice365でユーザー管理されているため、親和性があった。

初めて継続的な業務の見える化が可能となった

■ 不満

タスク管理ツールは、「どこの部署の誰からの依頼なのか」「依頼日はいつか」「いつからいつまでの時間がかかっているのか」「作業状況の可視化」「エクセルなどにエクスポートできない」等やりたいことに対応していなかった。

6. 業務の見える化：さらなる改善

■ 要件

- ・ すぐに作れる
- ・ 今までのエクセルを再利用できる
- ・ 入力しやすい
- ・ 複数人が同時に入力できる
- ・ 管理が簡単
- ・ 機能追加が簡単
- ・ 大学で導入可能
- ・ 無料もしくはリーズナブルな値段

時間を割かずに手軽に自分たちの要望に合うもの

6. 業務の見える化：さらなる改善

■ 組織アプリ自作ツール（Microsoft PowerApps）の導入

- ・ ユーザー管理を気にしなくてよい

大学の組織アカウントで利用可能

- ・ 利用端末を選ばない

PC(Windows、Mac)、スマホ(Android、iPhone)でも利用可能

- ・ 開発が用意

Excelの関数程度の知識でアプリ作成ができ、非ITでも比較的容易に開発可能

- ・ もともと使用していたエクセルファイルから作れる

- ・ Power BIによる結果共有が可能

作業記録を手軽にできるアプリを自作可能

7. デモ

- 今回は、実際にエクセルファイルからアプリを作ってみます。
- 用意したエクセルファイル
テーブル化されたものを準備すること。

作業者	作業内容	依頼日時	作業開始日時	作業終了日時	依頼者
鈴木	成績データの加工	2019/3/1 10:00	2019/3/1 13:00		藤原
水戸	研究者データベースのアップデート	2019/3/1 13:00	2019/3/1 13:00	2019/3/3 17:00	藤原
水戸	ファクトブックの検討	2019/3/1 13:00	2019/3/4 10:00	2019/3/6 17:00	藤原
藤原	IR会議用資料作成	2019/3/1 13:00	2019/3/4 10:00	2019/3/6 17:00	藤原

8. 現時点での課題

当日投影

当日投影